

## 平成27年度 高冷地水稻生育速報(第6報)

岐阜県中山間農業研究所

### 1. 生育概況(8月13日現在)

品種名	年度	出穂期	(平年との差)	現在の状況
コシヒカリ	本年	8月5日	(2日早い)	乳熟期
	前年	8月7日		
	平年	8月7日		
ひとめぼれ	本年	8月1日	(2日早い)	乳熟期～糊熟期
	前年	8月2日		
	平年	8月3日		
たかやまもち	本年	7月26日	(1日早い)	黄熟始め
	前年	7月25日		
	平年	7月27日		
ひだほまれ	本年	7月30日	(2日早い)	乳熟期～糊熟期
	前年	8月2日		
	平年	8月1日		

栽培条件: 移植5月14日 栽植密度21.2株/m<sup>2</sup> 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a  
 ただし、H25年度以前の栽植密度は 22.2株/m<sup>2</sup>、平成26年度は18.2株/m<sup>2</sup>  
 平年値: 過去5年間(H22年～H26年)の平均値  
 ( )内の数値は対平年値

#### 1) 気象概況

7月20日の梅雨明け以降、気温は平年よりも高く、日照時間も平年よりも多く推移してきたが、8月第3半旬においては曇雨天が続き、気温がやや低く、日照時間が短い傾向となった。

#### 2) 生育状況

「ひとめぼれ」「コシヒカリ」まで出穂が確認された。出穂期は、「ひとめぼれ」で平年より2日早い8月1日、「コシヒカリ」で平年より2日早い8月5日であった。

#### 3) 病害虫等の発生状況

穂いもちの発生は確認されていないが、紋枯病については一部の品種において発生が見られる。斑点米カメムシ類は場内においては、あまり見られない。

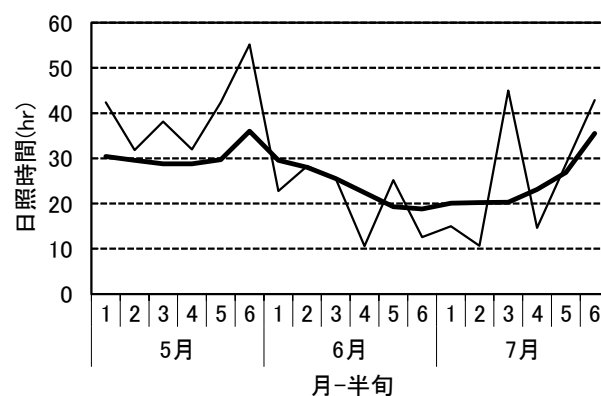
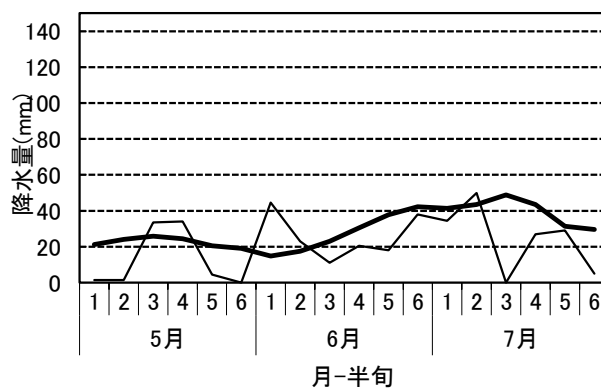
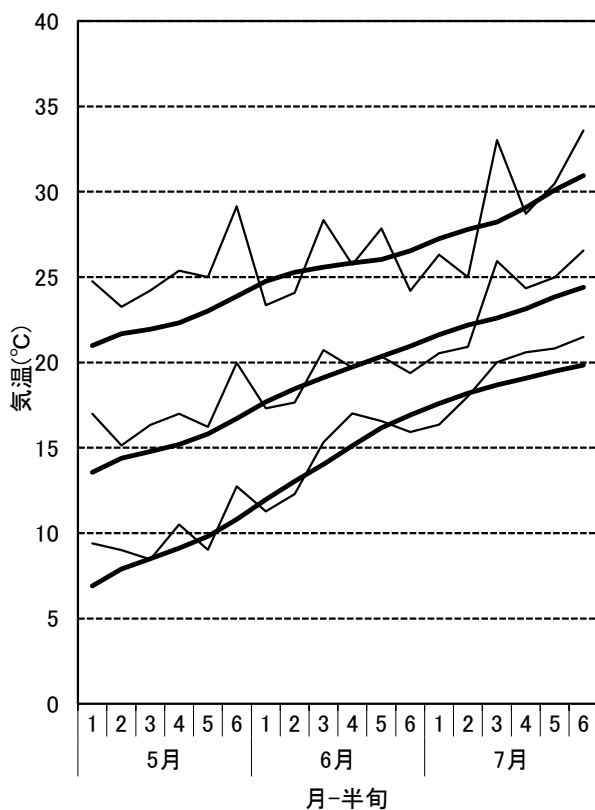
#### 4) 今後の管理

斑点米カメムシ類の適期防除に努める。なお、使用する剤型により適期が異なるので留意し、適期を逃さないようにする。早期の落水は品質や食味の低下を招くので、出穂後30日間は落水しないようにする。

<参考> 前回調査時(7月31日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色		葉齢
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	91.1 (100%)	446 (105%)	3.7 (-0.6)	35.2 (+0.3)	13.0 (-0.3)
	前年	83.3	342	3.6	34.7	13.0
	平年	91.4	424	4.3	34.9	13.3
ひとめぼれ	本年	88.9	455	4.4	40.3	13.0
	前年	80.0	435	4.5	38.9	13.0
	平年	-	-	-	-	-
たかやまもち	本年	90.6	396	4.7	41.1	13.0
	前年	77.4	349	4.5	39.1	13.0
	平年	-	-	-	-	-
ひだほまれ	本年	95.0	322	4.5	41.2	13.5
	前年	87.8	255	4.5	39.6	13.4
	平年	-	-	-	-	-

<参考> 半旬別気象図(高山市アメダス, 7月31日現在)



— 平年(1981~2010年) — 本年(2015年)

岐阜県中山間農業研究所  
TEL 0577-73-2029  
FAX 0577-73-2751  
<http://www.cc.rd.pref.gifu.lg.jp/k-agri/>